



音羽通信

令和7年6月4日 第4号
文京区立音羽中学校
文京区大塚1丁目9番24号

『なぜ』を追求する

生活指導主任 伊東貴昭

先日の第17回運動会は、不安定な天候が予想されたため、開始時刻や種目を厳選しての実施となりました。悪天候の中での演技・競技となり、生徒・保護者の皆様・地域の方に様々な面でご心配をおかけしました。大変申し訳ありませんでした。

5月19日から始まった特別時程での運動会練習。限られた練習時間の中で自分たちのもつ力を思う存分伸ばしてきました。コンディションが良くなかった本番でも、与えられた条件での最高のパフォーマンスを見せ、これまでの成果を発揮できた素晴らしいものとなりました。練習や本番での様子からも、これまでの音羽中の伝統を受け継ぎながら新しい音羽中へとアップデートしていく過程が手に取るようにわかり、今から来年度への進化が楽しみです。

さて、東京都では、毎年6月、11月、2月を「ふれあい（いじめ防止強化）」月間とし、都内の全ての小・中学校で、いじめを未然に防止し、子どもたちの健全育成を目指して取組を行っています。本校でも、特別の教科道徳で「いじめ」をテーマにした授業実践を予定しているほか、「ふれあいアンケート」を実施し、生徒一人一人の学校内外での様子を丁寧に見取ってまいります。

そのような中で、私が毎年この時期に考えることがあります。それは、「いじめは明らかに悪いことだと誰もが知っている。であるにもかかわらず、世の中から『なぜか』いじめはなくなる。」という問いです。この問いに対し、私なりに考えをまとめてみました。

人がいじめをしてしまう一つめの理由は、「自分の不安や弱さを隠したい」という気持ちが挙げられます。自分に自信がもてなかったり、家庭や学校でストレスを抱えていたりすると、その心の苦しさを誰かにぶつけたくなることがあります。その結果、他人をからかったり、仲間はずれにしたりするのです。本校ではこの課題に対し、様々な場面を通して、生徒一人一人の自己肯定感や自己有用感を高める取組を行っています。

そして、もう一つの大きな理由は、「相手の気持ちを想像できないこと」が挙げられます。人は、時として、自分の言動によって相手がどう感じるかを深く考えられないことがあります。結果として、意図せずに、簡単に他人の心を深く傷つけてしまいます。それが「いじめ」へと発展してしまうのです。相手の立場になって考える力、つまり「共感力・想像力」をつけることがとても大切です。

また、普段の人間関係も大きく関わります。同じ事象が起こったとしても、普段の人間関係から、その事象が相手に「いじめ」と捉えられることと、まったく「いじめ」とは捉えられないことがあります。その違いが『なぜ』起こるのかを考えられることこそが重要なのです。私たちは単純に「いじめは悪いからダメ」とだけ考えるだけでなく、『なぜ』悪いのかにも目を向け、理解しようとする姿勢も必要です。

物事の理由を考えることは、いじめ問題に限らず、誰もが安全・安心な気持ちで自分らしく生活していくことにもつながります。

本校が、『なぜ』を追求し、より良い学校生活を考えることが生徒であふれる集団となるよう一層の教育活動を進めてまいります。

◆ ◇ ◆ 6月の行事予定 ◇ ◆ ◇

1日(日) ふれあい月間始 2日(月) 振替休業日 6日(金) 教育実習終・1年ハヶ岳健康相談 9日(月) 全校朝会・安全指導 11日(水) 1年ハヶ岳移動教室 ～13日(金) 13日(金) 3年高校の先生のお話を聞く会 3年進路説明会 16日(月) 専門・中央委員会	23日(月) 定期考査I(国語・理科・音楽) 学校運営協議会・学校関係者評価委員会 24日(火) 定期考査I(社会・英語・美術) 25日(水) 定期考査I(数学・技術家庭・保健体育) 26日(木) 3年領域診断テスト・避難訓練 27日(金) 2年防災宿泊体験PM 28日(土) 2年防災宿泊体験AM 30日(月) 生徒朝会・ふれあい月間終 ※23日及び24日は給食はありません
---	--

【保護者ならびに地域の皆様】

5月31日(土)に開催した運動会では、あいにくの天候にも関わらず多数の皆様にご参観いただき、改めて感謝を申し上げます。また、運営に関するご意見をいただく中で、ご心配をおかけしましたことについては、この場を借りてお詫びを申し上げます。

引き続き、諸事業の運営については細心の注意をはらい、生徒と教職員の健康と安全を最優先に進めてまいり所存でございます。今後ともご理解ご支援をお願い申し上げます。